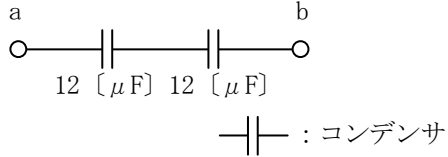


第三級陸上特殊無線技士試験問題

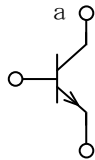
無線工学

- [13] 図に示す回路の端子 ab 間の合成静電容量は、幾らになるか。



1. 3 $[\mu\text{F}]$
2. 6 $[\mu\text{F}]$
3. 12 $[\mu\text{F}]$
4. 24 $[\mu\text{F}]$

- [14] 図に示す NPN 形トランジスタの図記号において、電極 a の名称は、次のうちどれか。



1. エミッタ
2. ベース
3. コレクタ
4. ゲート

- [15] 超短波 (VHF) 帯の周波数を利用する送受信設備において、装置とアンテナを接続する給電線として、通常使用されるものは次のうちどれか。

1. 同軸ケーブル
2. 導波管線路
3. 平行 2 線式線路
4. LAN ケーブル

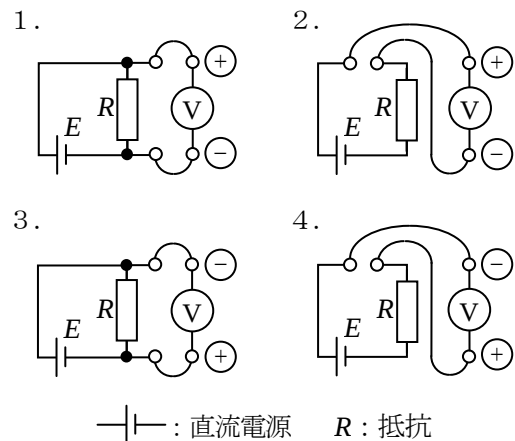
- [16] 短波 (HF) の伝わり方と比べたときの超短波 (VHF) の伝わり方の記述で、最も適切なものはどれか。

1. 見通し距離外の通信に適する。
2. 太陽の紫外線による影響を受ける。
3. 昼間と夜間では、電波の伝わり方が異なる。
4. 通常、電離層を突き抜けてしまう。

- [17] 機器に用いる電源ヒューズの電流値は、機器の規格電流に比べて、どのような値のものが最も適切か。

1. 少し小さい値
2. 十分小さい値
3. 少し大きい値
4. 十分大きい値

- [18] 負荷 R にかかる電圧を測定するときの電圧計 V のつなぎ方で、正しいのはどれか。



第三級陸上特殊無線技士試験問題

無線工学

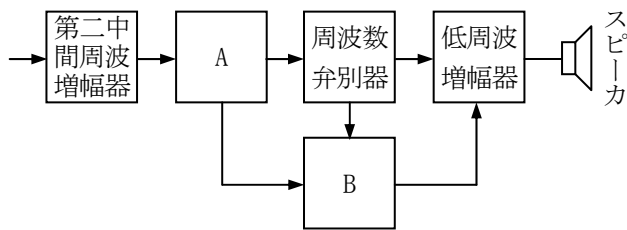
[19] AM (A3E) 通信方式と比べたときの FM (F3E) 通信方式の一般的な特徴で、正しいのはどれか。

1. 占有周波数帯幅が広い。
2. 搬送波を抑圧している。
3. 雑音の影響を受けやすい。
4. 装置の回路構成が簡単である。

[22] FM 送受信機の受信操作で、正しいのはどれか。

1. スケルチ調整つまみは、雑音が消える限界付近の位置にする。
2. スケルチ調整つまみは、右に回して雑音が消えている範囲の適当な位置にする。
3. スケルチ調整つまみは、雑音を消すためのもので、右いっぱい回しておく。
4. 受信中に相手の電波が弱くなった場合でも、スケルチ調整つまみは、操作する必要はない。

[20] 図は、FM 受信機の構成の一部を示したものである。空欄の部分の名称の組合せで正しいのはどれか。



A

1. 周波数変換器
2. 周波数変換器
3. 振幅制限器
4. 振幅制限器

B

- スケルチ回路
- AGC 回路
- スケルチ回路
- AGC 回路

[21] FM (F3E) 送受信機において、電波が発射されるのは、次のうちどれか。

1. 電源スイッチを接 (ON) にしたとき。
2. スケルチを動作させたとき。
3. プレストークボタンを押したとき。
4. プレストークボタンを離したとき。

[24] 無線送受信機の制御器を使用する主な目的は、次のうちどれか。

1. 電源電圧の変動を避けるため。
2. 送信と受信の切替えのみを行うため。
3. 送受信機周辺の電氣的雑音による障害を避けるため。
4. 送受信機を離れたところから操作するため。